

東海発電所 固化処理建屋屋上冷却塔における火災について

当社、東海発電所（廃止措置中）は、本日10時20分頃、固化処理建屋屋上冷却塔からの発煙を当社社員が確認しました。

10時30分に東海村消防署に通報するとともに、自衛消防隊を出動させ、初期消火活動を行い、10時44分頃に残り火がないことを確認しました。

東海村消防署による現場確認の結果、10時49分に「火災である」と判断され、同時刻に鎮火も確認されました。

当該冷却塔は放射性液体廃棄物を蒸発固化させる際の蒸気を冷却し水に戻すためのもので、下部に溜まった冷却水（非放射性）の凍結防止のために電気ヒータを用いており、当該電気ヒータの上に作業掲示用のビニールシートがあり、接触状態にあったため、当該電気ヒータの通電に伴い、過熱して発火したものと推定されます。

電気ヒータの通電は、冷却塔の点検後確認のため、本日朝に行ったものです。

なお、本事象による人身災害は発生しておりません。

今後、火災が発生した原因の詳細を調査してまいります。

現在の発電所の状況は以下のとおりです。

1. 原子炉施設等の状況
 - ・ 廃止措置中
2. 周辺環境への放射能の影響
 - ・ 放射能の漏えい等は発生しておりません。
 - ・ モニタリングポストなど、環境放射線モニターの指示の変化はなく、外部への放射能の影響はありません。
 - ・ 今後も引き続き監視してまいります。
3. 今後の対応
 - ・ 当該箇所の火災原因などについては、詳細調査を行います。

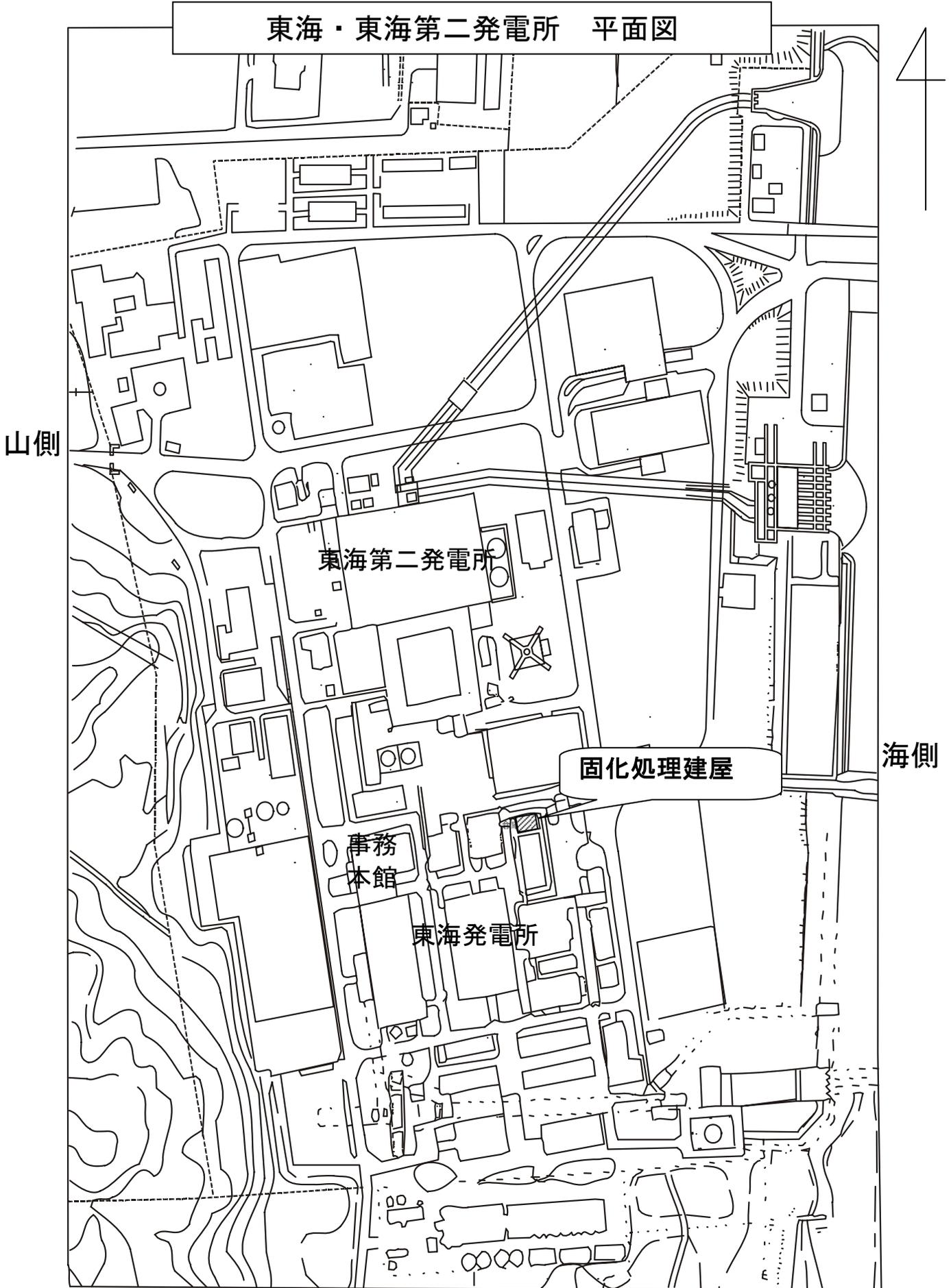
以上

添付資料：1. 東海・東海第二発電所 配置図

2. 冷却塔外観

3. 冷却塔内

東海・東海第二発電所 平面図





冷却塔外觀





冷 却 塔 内

